



MONTHLY NEWS

京都画廊連合会ニュース

THE KYOTO GALLERIES FEDERATION OF ARTS

2013
12月号
No. 464

詩魂の画家 山口 薫 展

と き / 11月23日(祝)～2014年1月26日(日) 10:00AM～6:00PM
と ころ / 何必館・京都現代美術館 (祝日以外の月曜と年末年始休館)
京都市東山区祇園町北側271 ☎075-525-1311

本年は山口薫(1907～1968)の没後45年にあたる。群馬県で生まれた山口薫は、早くから絵の才能を発揮し、東京美術学校で洋画を学ぶ。同校卒業後、渡仏し独自の画風を模索。帰国後は自由美術家協会やモダンアート協会の結成に携わり、母校である東京藝術大学で教鞭をとりながら若い世代の画家の育成にも貢献した。



「娘二人像」1956年

故郷の田園風景、馬や牛、娘や愛犬など同じモチーフを繰り返し描き、そこから浮かび上がる山口のイメージが、具象と抽象の境界を行き来して詩情豊かな造形表現でキャンバスに描き出されている。また、「詩魂の画家」とも呼ばれる山口は制作中に多くの詩文を残しており、生きる苦悩や歎びなど内に秘めた強い思いが感じられ、画家として作品と真剣に対峙した姿が見受けられる。

本展では、山口薫の油彩や水彩、詩文などの中から厳選された作品約70点が展示される。

記念出版『詩魂の画家 山口薫』 3,000円



「おぼろ月に輪舞する子供達」1968年(絶筆)

石本 正 新作展 一湧きでる対象を求めて一

と き / 11月1日(金)～12月19日(木) 10:00AM～5:00PM
と ころ / 中信美術館 (月曜休館) (京都府庁西)
京都市上京区下立売通油小路東入ル ☎075-417-2323

日本画家石本正は、京都市立絵画専門学校(現京都市立芸術大学)入学のため鳥根県那賀郡岡見村(現浜田市三隅町岡見)をあとにして70余年。93歳を迎えた現在も拠点京都に置き、ひとつの技法や表現にとどまることなく、心に浮かんだ様々なイメージを自由に描き続けている。



「舞妓」

中信美術館で開催する「石本正新作展」は、平成21年に美術館を開館して以来毎年開催しており、今年で5回目となる本展では、鳥や人物、花、風景など新作約25点を展示している。見たものをそのまま描くのではなく、心で感じたままに描き続ける石本正。人間的な温かみや優しさに溢れた鳥や動物の表情、息遣いが聞こえてくるかのように生命感に満ちた花や枝葉など、次から次へと湧きでてくるイメージを描く石本正独自の芸術世界を、ぜひこの機会にご高覧ください。



「鳥」



「寒牡丹」

会場	日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111	皇室の名品 - 近代日本美術の粹																													休館 1/2まで	→1/13	
京都国立博物館 東山区東大路七条西 541-1151	特別展覧会「魅惑の清朝陶磁」 (月曜休館)														全館休館														→4/21			
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	祇園祭 - 占出山の名宝 - (～1/5)					近代の京友禅 (～1/19)					羅城門の記憶 - 模型の楽しみ方3 - (～2/2)															年末年始休館 →1/3					
	3F	生誕100年佐藤太清展 (～2/9)																														
	4F																															
	5F	第14京都市現代写真作家展	第98回 表展 (表装展覧会)					芹生芳郎展					第33回 聚英展					折りの道 二人展 (日本画) 第21回 帆の会展														
	6F	豊後会 書展	いづみ会 書展					第6回 書の森展					小松会織物展 志村ふくみ 門下生による																			
別館	音楽会	講演会	音楽会	音楽会	イベント	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会

会場		日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		日曜		(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	月	火	水	木	金	土	(日)	(日)	火	水	木	金	土	(日)	月	火
京都市美術館 左京区岡崎公園内 771-4107	本館	酒内 酒内	京都市美術館開館80周年記念展 京の美・コレクションの美・明日への美 ～京都市美術館コレクション問わず語り														→2/23																	
		第81回 独立展							第45回 日展京都展							年末年始休館 (～1/2)	→1/19																	
	第98回 二科展																																	
別館	全 市 子 ど も 美 術 展	楽書会書展							第20回 アトリエ奏作品展 LA VOZ 19th EXHIBITION																									
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	1F	展 ア ム	国画家・京滋作家展 (美術総合)					箭々会展'13 (日本画)					日本画ん展					年末年始休館 →1/4																
	2F	書 水 月 会	国画家・京滋作家展 (美術総合)					杉並淑江遺作展 母を唄んで					2005'瓜生会 (日本画)																					
	3F																																	
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007	企画展 美の登音(あしおと) -1952年のパリ・ローマ・フィレンツェ- (～3/30)														同時開催企画展 浅井忠一 -パリの街角を飾ったポスター- (～3/30)										年末年始休館 →1/4									
① 何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311	詩魂の画家・山口薫展 (祝日以外の月曜、12/30～1/6 休館)																															→1/26		
① 高島屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画廊	四代矢口永寿 茶陶展 中村豊 陶展	喜寿記念 清水達三展 (日本画)					備前 稻荷 作展 (陶芸) 第45回 十騎会 (洋画)					工芸美術 創工会展					迎春用床飾り展 -一年を彩る動物たち- 干支彫刻展																
	グラ ン ド ホ ール	お歳暮ばらのギフトセンター会場のためお休みいたします。																																
① 大丸 中京区四条高倉 211-8111	画廊	輪島漆芸 逸品展	-四季彩麗- 齋藤満栄日本画展					掛軸紅札市					京の中古道具市					アントワヌ・アンリ 来日油絵展					→1/7											
	ミ ュ ジ ア ム	休館																																
① 中信美術館 上京区下立売油小路東入 417-2323	石本正 新作展 -湧きでる対象を求めて- (月曜休館)														休館																			
① 並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277	開館10周年記念 秋季特別展 「七宝-手のひらの宇宙」														休館																			
① 美術館「えき」KYOTO JR京都伊勢丹7F 352-1111	藤 田	クヴィエタ・パツオウスカーとチェコの絵本展																																
会場	日曜		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
① アートギャラリー北野 中京区三条河原町東入 221-5397	1F	黎明展	中村文子展					由良展					高井弘明展					休廊																
① アートスペース虹 三条上通都ホテル隣 761-9238	2F	松本 知佳	東端哉子 (日本画)					カレンダー 2014 (月曜休廊)										冬期休廊					→1/6											
① アートスペース東山 東山区三条神宮道東入 751-1830	大 個 展	中 井 英	多胡喜伸展 -記憶の漣-					常設展					冬期休廊										→1/20											
① Art Spece MEISEI 中京区寺町竹屋町上ル 744-0122	襦 展	ウ エ ダ コ 展	上岡奈苗日本画展 NANA-E Garden					「さんぼみち」日本画 前田恭子・若林静香					SAGA DASH 2013 嵯峨芸大油画選抜展																					
① アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401	ウ エ ダ コ 展	Joel Stewart -Tone Poems- ジョエル・スチュワート作品展 (月曜休廊)														山田喜代春 木版画作品展													→1/19					
① イムラ・アート・ギャラリー 左京区丸太町川端東入 761-7372	染谷聡個展																																	
① 一心堂画廊 中京区烏丸通六角下ル 211-1013	日本画・洋画常設展														一萌会展					日本画・洋画常設展					冬期休廊							→1/7		
① 芸艸堂画廊 中京区寺町二条下ル 231-3613	木版画常設展 (貸画廊受付中)																																	
① 絵草子 東山区新門前通東山西 551-9137	常設展																																	
① 延寿堂ギャラリーソフォラ 中京区二条寺町東入 211-5552	レ ギ ー ナ ・ ア ル テ ル 展	飯野夏実展 -陶・ピサンキー- (木曜休廊)														休廊																		
① 御池画廊 北区小山上総町20-2 492-3083	洋画/日本画常設展 (日祝休廊) 青木敏郎・伊谷賢蔵・池田遙郎・熊谷守一														冬期休廊													→1/5						
① カギムラ画廊 中京区河原町四条上ル東入 221-2996	常設展 秋野不矩・浅野 均・川端健生 小池一範・小嶋悠司・中野弘彦																																	
① 画廊おかざき 左京区岡崎神宮道西側 761-0027	現代工芸作家常設展																																	
① 画廊きよみず 東山区清水五条坂 525-2062	第2回清峰展														冬期休廊													→1/						

①: 企画および常設を中心に活動する画廊 ②: 貸画廊

—素顔それとも虚構— 生かされた女性美

と き / 11月22日(金)~12月22日(日) 10:30AM~6:00PM
 ところ / 星野画廊 (月曜・火曜定休)
 京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

美しい女性を描いた「美人画」が人々の注目を集め、全国で幾多の美人画展が開催されてきた。西洋美術の範疇に「美人画」はなく、江戸期の浮世絵に端を発する美人画は日本独自のものらしい。明治以降、洋画の世界でも美人画は多く描かれたが、とりわけ日本画の分野では重要な位置を占める。巷の美術館や百貨店催事でも美人画展の人気は留まるところがないようだ。いずれも「上村松園…」とか「鍋木清方…」、「美人画の四季」や「近代日本美人画展」などの表題のある展覧会だ。興行的にはそれで多くの観客が見込めるからだろうが、少々食傷気味の人もあるのではないだろうか。

当画廊においても過去に2度、同じ趣旨の展覧会「明治・大正・昭和—美人画コレクション展」(2001=平成13年)と「~京阪神~女流画家の競艶」展(2004=平成16年)を開催している。ところがいつも“美人”という表現が気になって仕方がなかった。女性の美しさを表現する場合に、美人・美女という言葉だけで括ることに違和感があるのは否めないのだ。

本展で展観する予定の作品は全てが日本画であるが、美人画の著名作家のものは数少ない。多くを過去美術史の陰の部分に葬り去られてきた、無名画家たちの作品が占めている。中には近年研究が進み、各地の美術館での企画展で取り上げられて脚光を浴びてきた画家の作品もあるが、未だにどのような経歴の持ち主か分からない画家も多い。そうした作家の作品にも陽を当てて一堂に展観し、女性たちの美しさがどのように絵に生かされてきたかを顕彰してみたいのである。



甲斐庄楠音「如月太夫」(部分)
1935 (昭和10) 年頃

記念図録: B5判 頒価1500円
(出品作品全68点掲載)



島成園「母」 昭和初期頃



岡本大更「京の町へ」
1916 (大正5) 年



岡本神草「拳の舞妓」
1922 (大正11) 年

鳥越ゆり子絵画展 3.11から野草譜によせて

と き / 12月1日(日)~12月8日(日) 11:00AM~6:00PM
 ところ / ギャラリーいちかわ
 京都市下京区河原町通松原上ル ☎075-351-7267

「百姓のように絵を描きなさい」と言ったのはミロだが、2011年3月11日東日本大震災によって引き起こされた福島原発事故以降、「百姓の眼」になって(もともと私は百姓だ)、百姓暮らしの身近にある野草雑草を中心に、具象画を描いている。

抽象のクレパス画から始まった私の絵だが、原発事故の過酷な現状に対峙できるものがあるとすれば、そんなものではあるはずがない、冷厳とも言える具象ではないか、と今は思える。どこまで私の絵筆が及ぶか…。

畑の一個のカボチャ。荒地の一株のマリア薊。放置され、捨てられた田野に生きる植物たち。「まっとうな畑」の虫喰い葉に絵筆を走らせながらも、心奥には「まっとうでない」放置された光景が広がってゆく。憤怒があり、悲哀があり、なお愛情があり、なによりも無力があって、揺れまどう苦しみがある。

野草譜によせて100点は描こうと思っている。まっとうな人生をまっとうするためにも。

2013. 11. 8 鳥越ゆり子

プロフィール

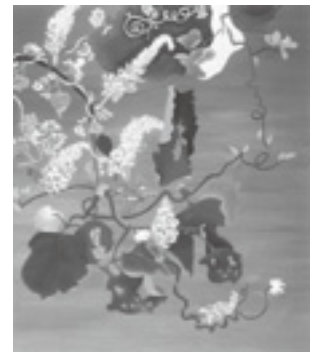
- 1952 岡山県倉敷生まれ
- 1992 小説集『幼女記』(手帖舎刊)
- 1996 詩集『音楽砂丘』(湯川書房刊)
- 1998 絵画展「宇宙樹の世界」(大阪、マサゴ画廊)
- 1999 絵画展「(る)星紀」(長野、ヘンリーミラー美術館)
- 2000-2003 絵画展(京都、志摩画廊)
- 2004-2012 絵画展(京都、ギャラリーいちかわ)
- 2013・8/15 埼玉丸木美術館で詩の朗読に参加。
- その他、各地で詩の朗読会を主宰する



「まっとうな畑」 53×45.6cm (10号)



「夏を咲く種(ヒマワリ)」
50×60.5cm (10号)



「放地のつる植物(クズ、ヘソカズラ)」
53×45.6cm (10号)

中国現代アート
黄淵青 Huang Yuan Qing ファン・ユアンチン

と き / 11月30日(土)~12月14日(土) 12:00~18:00
と ころ / ギャラリー三条祇園 (月曜・火曜定休) ☎075-221-6401
京都市中京区寺町通御池上ル トミタヤビル2F

「上海抽象派の現状」をテーマに、中国で活躍する作家をシリーズでご紹介する第3弾です。

ファン・ユアンチンは、アジアのみならず広くヨーロッパでも知られている、上海現代アートの代表的な作家の一人です。書道家としても研鑽に努めた筆遣いで、自然の風景のエッセンスを抽象的に表現しています。色使いはさわやかで都会的なセンスを感じさせる魅力的な作家です。ぜひこの機会にご高覧くださいませ。

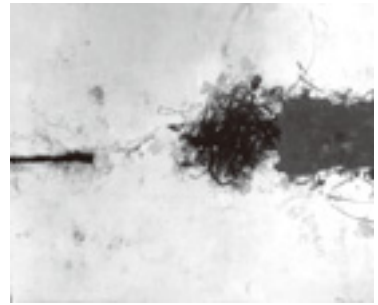
オープニングレセプション：11月30日(土) 17:30~19:00
黄淵青 Huang Yuan Qing 氏 来日いたします。

主 催：三条祇園画廊
〒604-8005 京都市中京区寺町御池上ル上本能寺前町485 モーリスビル1F
TEL：075-221-6401 FAX：075-255-3410
E-mail：sg-sanjyo@sanjyogion.co.jp <http://www.sanjyogion.co.jp/展覧会概要>

黄淵青 Huang Yuan Qing ファン・ユアンチン
1963年 上海に生まれる。
現在、上海在住
2007年 個展「Move Closer」 Gallery of Bangkok University (バンコク)
2010年 「Form & Imagery-Huang Yuanqing's Solo Exhibition」 Z Art Center (上海)
「黄淵青個展」 GALERIE ALBRECHT (ベルリン)
2011年 「上海現代アート展」三条祇園画廊 (京都)



黄淵青 Huang Yuan Qing ファン・ユアンチン
ポートレート



Untitled 56.5×70cm 2013年
オイル、アクリル、紙



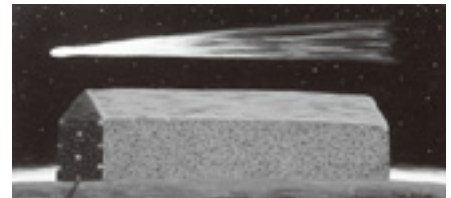
Untitled 57.5×70cm 2013年
オイル、アクリル、紙

ディーン・ボーエン新作展 〈鳥・虫・宙〉

と き / 11月30日(土)~12月22日(日) 1:00PM~7:00PM
と ころ / ギャラリー宮脇 (月曜定休)
京都市中京区寺町通二条上ル東側 ☎075-231-2321

ディーン・ボーエン (Dean Bowen) は1957年オーストラリア生まれのアーティスト。大地と大空を背景に、鳥や虫などの小さな生き物たちの姿をユーモラスに描き人気を博してきました。そこには、自然への畏怖と無限への憧憬、日常を共にする小さきものたちへのささやかな愛とその生命の脆さが表現されています。

「いつも自由な気持ちでいること」、それが作者の芸術家としての信条です。そうすることによって、日常のあらゆる事物、偶然の出来事が作品の材料になっていきます。ボーエンはたぐいまれなる豊かな想像力で、油絵、版画、彫刻、タペストリー、アニメーション等々、様々な表現方法を用いた作品を発表してきました。一人でも多くの人々に、ちょっとした笑みや驚きをもたらすことを願って制作しています。



「巨大隕石」2012年 油彩 11.5×25cm

作家略歴：

メルボルンのRMITで版画を専攻。
94年 豪州最高位のフリマントル版画賞受賞。
94年・97年 大阪国際版画トリエンナーレ特別賞連続受賞。
以後世界各国で受賞・入選多数。
99年 モナシユ大学より版画分野で豪州初の博士号取得。
05年 兵庫国際絵画コンペティション「再生 Renaissance」入選。
07年 滋賀県立近代美術館「天体と宇宙の美学」出品。
09年 東御市梅野記念絵画館「ねこだらけ」出品。
近年は豪ヴェイクトリア州各地の公立美術館で個展が相次ぎ、またパブリックアートのための大型ブロンズ彫刻の委嘱制作も次々と手がけ、ますますスケールの大きな活動を展開している。



「虫を見るヒョウ柄の鳥」
2012年 油彩 53×45cm



「虫を捕まえた鳥」2013年
リトグラフ 68×50cm

—弦楽四獣奏— 大竹茂夫 展

と き／12月3日(火)～12月15日(日) 10：30AM～6：30PM
ところ／蔵丘洞画廊（会期中無休）
京都市中京区御池通寺町東入ル ☎075-255-2232

独特の世界観でファンを魅了してやまない、大竹茂夫による展覧会である。大竹ワールドの人間たちは何かもの言いたげで、もし身近にいてもちょっと近寄りたがいない雰囲気だ。それに比べ、この不思議なキャラクターたちときたらどうだろうか。外見こそ私たちとは似ても似つかないが、動きや表情はずっと人間っぽく、生き生きしているように感じる。今にもぐにゃぐにゃと動き出しそうだ。

描かれている人間とイキモノは、お互いまったく異質なのにも関わらず、しれっと同じ場面に登場し、交流し、いかにもそれは普通なこと、という様子である。自然（特に粘菌類）を愛する作家の、イキモノたちに対する絶妙な距離感が表れているのかもしれない。

今回のテーマは「音楽」。

さまざまな楽器に扮した、キミョウなイキモノたちがたくさん登場するものとなっている。このイキモノは果たして何の楽器なのか？あれこれと想像をめぐらすのもきっと楽しいことと思う。



「弦楽四獣奏」2013年 4号F

大竹茂夫略歴

1955年 神戸生まれ

1979年 京都市立芸術大学美術学部卒業

1981年 同校・美術専攻科卒業、文化庁芸術家国内研修員

出版物：トリイ・ヘイデン著『シーラという子』『タイガーと呼ばれた子』

エリオット・レイトン著『親を殺した子供たち』

森博嗣著『工学部・水柿助教授の日常』など表紙絵多数手がける

天沼春樹『アリストピア』『赤ずきん』

寺山修司『TAROTタロット』の挿画も手がける



「ぼくらがピアノ」

永守 紋子 個展

と き／12月3日(火)～15日(日) 11：00AM～5：30PM
ところ／ギャラリー唯（月曜日定休、最終日5：00まで）
京都市左京区岡崎神宮道東側 ☎075-752-0348

移りゆく四季を、漆と融合させた作品展「永守紋子個展」が、岡崎神宮道のギャラリー唯で開催されます。

本展では、「透きとおる空気と、静かに流れる時間を漆の中に閉じ込める」をテーマに、代表作である円盤の柄の木に漆を重ねた皿や未発表の作品も展示します。

四季折々の命あるものを題材に、感性豊かな作品を発表し続けている永守は、これまでの実用性を含んだ作風から派生し、あえて絵画的な視点から制作した作品の発表の場に、自身の活動の原点でもある京都の地を選びました。

深すぎて終わりの見えない森の静けさ、昨日命を終えた枯葉の上に今日の落ち葉がそっと重なる姿、ピンとはりつめた冬の空気を溶かす優しい木漏れ日…

日々の喧騒のなかで見過ごしあがちな、はかない季節の移ろいを感じさせる永守の作品には、見るものの心を震わせる美しい世界が広がっています。

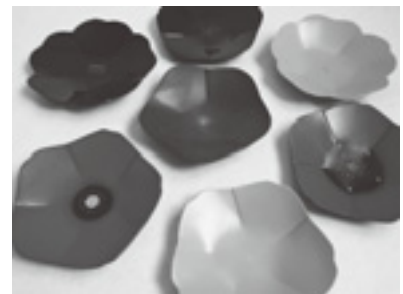
是非この機会に、永守がダイナミックかつ端正に表現した、漆のキャンバスに込めた透きとおる空気をお楽しみください。本展では、上記未発表作品の他、ストーリー性溢れる箸の数々や草花をモチーフにした器など話題となった作品も展示します。

永守紋子略歴

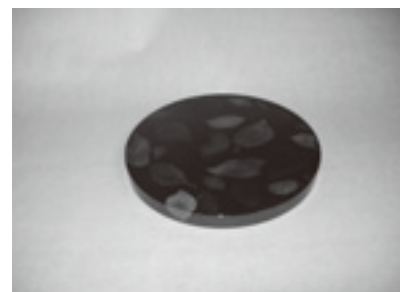
1983年 兵庫県生まれ

2005年 京都市立芸術大学美術学部工芸科漆工専攻卒業

2008年 金沢卯辰山工芸工房漆芸工房修了



乾漆「花のうつわ」



「透きとおる空気」

池田良則 展 ―逍遙 スコットランド―

と き／12月17日(火)～12月25日(水) 12:00～7:00PM
と ころ／ギャラリーヒルゲート (最終日～17:00)
京都市中京区寺町通三条上ル ☎075-231-3702

当画廊では5度目となる今展では、エディンバラ芸大の夏期講座以来慣染まれたスコットランドの風景を中心に新作を描いて下さいました。ラテンアメリカの強い陽光のもと、そこに暮らす人々と鮮やかな光と影の世界を印象的に描いてこられた池田先生。今回は一転してスコットランドの陰影に満ちた世界が広がります。どうぞ御高覧下さいませ。

池田良則 Yoshinori Ikeda

1951年 京都に生まれる

1973年 金沢美大油画科中退 高光一也に師事

1974年～インド・中近東・中南米を歩く

1999年 文化庁派遣芸術家在外研修員としてメキシコ・グアナファト大学
留学 客員教授を兼任

2009年 エディンバラ芸大夏期講座に京都府より参加
個展・グループ展等多数

現在 日展評議員 白日会常任委員 京都精華大学非常勤講師

■夜話市民講座Bコース「池田良則よもやま話」

12月22日(日) 6:00～7:30PM ギャラリー1F

定員40名(要申込) 参加費1,000円(学生500円) 茶菓子付



「北の町」



「伝説」油彩120号

近代日本美術の粹 皇室の名品

皇室が護ってきた日本画、洋画、彫刻、工芸が一堂に

と き／11月9日(土)～2014年1月13日(祝) 9:30AM～5:00PM
と ころ／京都国立近代美術館
(祝日以外の月曜と12/10、12/24、12/30～1/2 休館)
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-4111

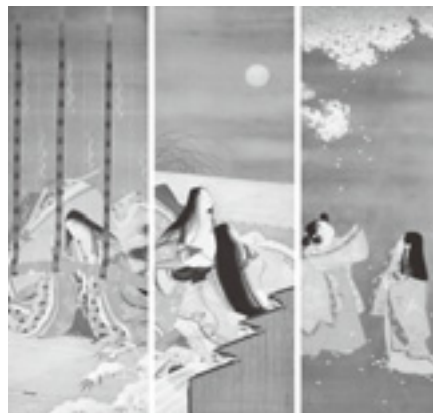
京都国立近代美術館のみで開催される本展は、代々の皇室に引き継がれてきた美術品群が国に寄贈されたことを受け、1993(平成5)年に開館した宮内庁三の丸尚蔵館が所蔵する美術工芸品の中から、選りすぐった近代以降の作品(日本画、油彩画、彫刻、七宝、金工、漆器、織物など多分野における)約180点を六つの章に分け、体系的に紹介するもの。これらの作品は1888(明治21)年に竣工した明治宮殿に調度として飾られたもの、御下命により制作されたもの、展覧会でお買い上げになったもの、御即位等皇室の御慶事に各方面から献上されたもの、御慶事の儀式で使用されたものや御肖像で、明治・大正・昭和と大切に受け継がれてきた、まさに近代日本美術の「粹」と言える作品群です。

また、本年12月に天皇陛下は傘寿を迎えられます。その佳き年と、京都国立近代美術館の開館50周年、宮内庁三の丸尚蔵館の開館20周年が重なった。各館の記念行事の一つとして、皇室とは特別にゆかりの深い京都の地で、皇室が護り育てこられた近代日本美術の粹を体系的に広くご観覧いただけるまたとない機会となるでしょう。

なお、焼失した明治宮殿の雰囲気をも再現した第一室では、壁やクロスや格天井の絵までも忠実に再現し、当時飾られていた作品も展示しているのは圧巻。



明治宮殿の室内写真



上村松園「雪月花」
1937(昭和12)年



並河靖之「黒地四季花鳥図花瓶」
1899(明治36)年



海野勝珉「蘭良王置物」
1890(明治23)年

会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	①	火	水	木	金	土	①	月	火
企	貸	画廊 後素堂 中央区新町丸太町下ル 231-0938	貸画廊予約受付中																														
企	貸	画廊 彩雲 宇治市折居台1-4-40 23-1468	常設展 (土日祝休廊)																								冬期休廊			→1/6			
企	貸	画廊 たづ 東山区神宮道三条西入ル 771-8225	日本画常設展																														
貸	貸	画廊 ビーナズ 三条大橋東一筋目上ル東 771-3104	双美・華乱 合同展						師走の町 (洋画) (月曜休廊)												年末年始休廊								→1/13				
貸	企	ぞおんギャラリー八坂 東山区祇園町南側 525-1717																			杉谷亜紀他 陶芸他展												
貸	企	ギャラリー 青い風 左京区岡崎神宮道東側 752-0182	休廊						中井仁美展 (版画)						冬期休廊												→1/6						
貸	企	ギャラリー いちかわ 下京区河原町松原上ル 351-7267	鳥越ゆり子絵画展																														
貸	企	ギャラリー M 中京区蛸薬師高倉西 221-0979	旅を絵にする展 (ベルギー、オランダ、バリなど) 松本祐佳												掛軸に描く展 (バリ、オランダ、トルコ) 松本祐佳						休廊						→1/6						
貸	企	ギャラリー カト 中京区寺町御池下ル 231-7813	南 幸子 展	アトリエ・エヌ作品展						大谷大学写真部冬舞展						How are you, PHOTOGRAPHY? くりかえし 京都市立芸大デザイン科二人展						冬期休廊						→1/7					
企	貸	ギャラリー かがわ 上京区堀川出水西入 432-3558	西嶋勝之 木版画展						神門やす子 墨と遊ぶⅨ (墨画) (~1/13)												年末年始休廊						→1/4						
貸	企	ギャラリー 河原町 中京区河原町二条上ル 231-6249	院展日本画常設展																														→1/6
貸	企	ギャラリー 祇園小舎 東山区四条通繩手東入 551-3828	清水 光美 展	石田とおる 油絵展						南仏プロバンス 水彩画スケッチ展						第9回 京陸展						ファンタ ジア in 京都						→1/6					
貸	企	ギャラリー 吉象堂 中京区三条柳馬場東 221-3955	鴻楽会						小松千晃個展 キセキの贈りもの						平岡康次 写真展						信楽焼 水垣力 作陶展						→1/6						
貸	企	ギャラリー 恵風 左京区丸太町東大路東入 771-1011	梅田美代子銅版画展 (月曜休廊)						Christmas Selection (荒木亨子・織田涼子・小池一範・松井郁子)												冬期休廊						→1/13						
貸	企	ギャラリー 佐野 中京区寺町蛸薬師西北角 221-2767	田中裕子日本画展 (月曜休廊)												井上絵美子漆展						斎藤卓治 紙の昆虫展						→1/6						
会場		日曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
		曜	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	月	火	水	木	金	土	①	①	火	水	木	金	土	①	月	火
企	貸	ギャラリー 三条祇園 中京区寺町通御池上ル 221-6401	中国現代アート 黄淵青 Huang Yuan Qing ファン・ユアンチン																														
企	貸	ギャラリー 思文閣 東山区古門前大和大路東 761-0001	常設展																														
企	貸	ギャラリー 白川 東山安井東一筋目南 532-2616	藤田修新作展 版画集「YOKOSUKA DETAILS」を中心に																														
貸	企	ギャラリー 翔 左京区北山通下鴨中通東 724-8154	ミツナガ手織り教室作品展 (バッグ・マフラー・小物)						黒田さかえ作品展 (油彩画他)						もうすぐお正月展 (木工・染色・絵画・土人形・備前焼・色紙他)																		
貸	企	ギャラリー 16 東山区三条通白川橋西入ル 751-9238	安枝知美「無告」 (平面)						岸田良子展「TARTANS」(月曜休廊) (平面)												冬期休廊						→1/11						
企	貸	ギャラリー 創 中京区河原町御池上ル 251-0522	常設展 (水曜休廊) 鴨居玲・熊谷守一・伊藤若冲・白隠慧鶴・曾我蕭白																														
貸	企	ギャラリー 象鯨 中京区姉小路柳馬場東 253-0738	貸ギャラリー受付中																														
貸	企	ギャラリー 高倉通 中京区高倉姉小路下ル 221-3390	貸画廊予約受付中												休廊																→1/4		
貸	企	ギャラリー Little House 下京区室町四条下ル 090-9977-1559	京都産業大学 写真部2回生展						White X'mas 4人展						常設展 (HASE・奥津香里命・堀川由梨佳・横岡健太郎・いしかわゆか)																		
企	貸	ギャラリー 鉄齋堂 東山区新門前東山西 531-6164	常設展 (6・9・18・19日休廊)																								冬期休廊						→1/4
企	貸	ギャラリー 知(とも) 中京区寺町通丸太町東入ル南側 585-4160																															
企	貸	ギャラリー なかむら 中京区姉小路河原町東 231-6632																															
企	貸	ギャラリー 中井 中京区木屋町三条上ル 211-1253	五色の音												冬期休廊																→1/6		
企	貸	ギャラリー 白梅園 北区北野上白梅町63 461-0427	白崎信子 ガラス作品 常設展																														
貸	企	ギャラリー ヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	中尾 一郎 展						北村美佳展 油彩・水彩・立体						二科新鋭5人展 大島信人・北村美佳・根本悟 ・山下かじん・山下和子						池田良則展 (油彩) - 遺遺スコットランド -						年末年始休廊						→1/10
企	貸	ギャラリー 美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	常設展示 (月曜休廊)																								冬期休廊						→1/6
企	貸	GALLERY FUKUMI SHIMURA 左京区岡崎神宮道西側 746-3303	志村ふくみ・志村洋子 常設作品展																								休廊						

